

# 平成18年度 事業状況報告書

(平成18年4月1日～平成19年3月31日)

## 1. 概要

事業計画に基づき、科学技術に関する調査・研究開発及び国際交流活動に対する事業を実施した。また、科学技術に関する普及啓発活動として、ホームページにより業務及び財務等に関する資料について情報公開を行った。

## 2. 科学技術に関する調査・研究開発に対する助成事業

工業製品などの科学技術開発において、その成果がわが国及び地域の経済発展に寄与すると認められる調査・研究開発について必要な研究開発資金の全額又はその一部を助成する事業であるが、平成18年度の対象者に助成金を交付したほか、平成19年度助成対象者の選定を行った。

### (1) 平成18年度調査・研究開発助成対象者に対する助成金の交付

応募件数：32件 助成件数：7件 助成総額：690万円

(単位：万円)

| 実施課題名                                  | 申請者                         | 交付額 |
|--|-----------------------------|-----|
| マイクパブルガソソ水利用による安心・安全農産物の生産安定技術の確立      | 高知大学農学部教授<br>福元康文           | 130 |
| 長寿命、低価格ワイヤレス用 DLC 被覆パワリ製品化のための生産技術の開発  | 福岡県工業技術センター専門研究員<br>土山明美    | 130 |
| 全方位カメラを用いた管内壁面検査ロボットの開発                | 福岡大学工学部助教授<br>松岡毅           | 70  |
| ノロウイルスを不活化する天然除菌石鹸の開発                  | 大阪府公衆衛生研究所<br>主任研究員 山崎謙治    | 120 |
| ウェアラブルアグリロボットの研究開発                     | 東京農工大学大学院教授<br>遠山茂樹         | 70  |
| 凹凸を有する親水性高分子ゲル微粒子の調整と機能性フィルターへの応用      | 大阪府立産業技術総合研究所<br>主任研究員 木本正樹 | 100 |
| コイル電流を振幅変調した誘導熱プラズマを用いた金属表面の高速チッカ技術の開発 | 金沢大学大学院助教授<br>田中康規          | 70  |

### (2) 平成19年度調査・研究開発助成対象者の募集

募集期間：平成18年8月1日～平成18年11月10日(当日消印有効)

募集方法：過去の応募者が関係する団体、TLO、団体を中心に、訪問、郵送により、募集の告知を行った。また、同時にホームページによる募集告知を実施した。

(3) 平成19年度調査・研究開発助成対象者の選定

平成19年度調査・研究開発助成対象者の選定については、平成18年12月～平成19年2月にかけて選考委員会に於いて厳正な審査が行われ、以下の通り決定された。

応募件数：30件 決定件数：5件 助成予定総額：780万円

(単位：万円)

| 実施課題名                                   | 申請者                   | 交付額 |
|---|-----------------------|-----|
| 浮遊帯域法単結晶成長用原料棒作成の迅速化研究                  | (有)クリスタルデザイン<br>梅山規男  | 180 |
| 水性二相抽出/吸光光度法による環境水中の微量重金属元素の高感度簡易計測法の開発 | 日本大学生産工学部<br>渋川雅美     | 170 |
| LED光源によるフォトリソグラフィ装置の研究開発                | 宮城教育大学教育学部<br>内山哲治    | 150 |
| 樹皮堆肥発酵過程を利用した流出油分解処理技術の研究開発             | 大分県産業科学技術センター<br>斉藤雅樹 | 140 |
| 高効率ウォータージェット装置の開発                       | 東京大学生産技術研究所<br>徳満和人   | 140 |

3. 科学技術に関する国際交流に対する助成事業

研究者、技術者が海外の大学又は試験研究機関などにおいて、開発研究、調査研究又は国際研究集会等の参加に必要な資金の全額又はその一部を助成する、また、国内での国際会議の開催に必要な資金の全額又はその一部を助成する事業であるが、平成18年度の対象者に助成金を交付したほか、平成19年度助成対象者の選定を行った。

(1) 平成18年度国際交流助成対象者に対する助成金の交付

応募件数：17件 助成件数：3件 助成総額：90万円

(単位：万円)

| 区分 | 目的   | 申請者                       | 交付額 |
|----|--|---------------------------|-----|
| 開催 | STESSA ( Behavior of Steel Structure in seismic Areas ) 2006 の開催 | 東京工業大学建築物理研究センター教授<br>和田章 | 30  |
| 参加 | 第7回 Coordinate Measuring Technique での論文発表                        | 東京電機大学工学部教授<br>古谷涼秋       | 30  |
| 参加 | 第11回先進材料技術に関する国際会議参加   | 物質材料研究機構材料研究所<br>吉田英弘     | 30  |

(2) 平成19年度国際交流助成対象者の募集

募集期間：平成18年8月1日～平成18年11月10日(当日消印有効)

募集方法：過去の応募者が関係する団体、TLO、団体を中心に、訪問、郵送によ

り、募集の告知を行った。また、同時にホームページによる募集告知を実施した。

(3) 平成19年度国際交流助成対象者の選定

平成19年度国際交流助成対象者の選定については、平成18年12月～平成19年2月にかけて選考委員会に於いて厳正な審査が行われ、以下の通り決定された。

応募件数：6件 助成件数：1件 助成予定総額：45万円

(単位：万円)

| 区分 | 目的  | 申請者                | 交付額 |
|----|---|--------------------|-----|
| 参加 | 第2回水中音響計測技術と結果の国際会議、<br>第8回音響の理論と計算の国際会議への参加<br>と水中音響学の調査研究 | 港湾空港技術研究所<br>松本さゆり | 45  |

4. 平成18年度科学技術に関する優れた業績を挙げた者に対する顕彰

科学技術の研究開発などに優れた功績をあげた企業、技術者などの関係者を表彰し、記念品を贈呈した。

(単位：万円)

| 区分 | 研究テーマ                               | 受賞者  | 記念品 |
|----|-------------------------------------|--|-----|
| 1  | 無電解ニッケルめっきにおける排出抑制技術の開発             | 独立行政法人 産業技術総合研究所(つくば)<br>環境管理技術研究部門 金属リサイクル研究<br>田中幹也  | 30  |
| 2  | 骨導超音波知覚の解明と重度難聴者用の新型補聴器開発への応用に関する研究 | 独立行政法人 産業技術総合研究所(大阪)<br>人間福祉医工学研究部門 暮らし情工学グループ<br>中川誠司 | 30  |

5. 科学技術に関する普及啓発活動

(1) ホームページにより、下記の内容について情報公開を行った。

- |    |              |                   |
|----|--------------|-------------------|
| 内容 | ・ 寄附行為       | ・ 平成17年度事業状況報告書   |
|    | ・ 設立の趣旨      | ・ 平成17年度収支計算書     |
|    | ・ 役員・評議員名簿   | ・ 平成17年度正味財産増減計算書 |
|    | ・ 概要         | ・ 平成17年度貸借対照表     |
|    | ・ 助成の申請募集    | ・ 平成17年度財産目録      |
|    | ・ 顕彰の推薦募集    | ・ 平成18年度事業計画書     |
|    | ・ 過去の助成事業の概要 | ・ 平成18年度収支予算書     |

アクセス数 25,609件 (平成19年5月7日現在)

(2) 講演会、セミナー、研修会等の開催の件については、以下のとおり実施した。

#### 開催概要

平成18年度科学技術セミナー

主催 内藤泰春科学技術振興財団

1. 日時 平成19年2月27日(火) 13:00~17:00
2. 場所 横浜国際ホテル (横浜市西区)
3. 共催 神奈川県異業種グループ連絡会議
4. 開催テーマ 日本の宇宙研究の最先端と技術開発への挑戦
5. 開催内容 (敬称略)
  - ・鈴木幸壽 理事長挨拶
  - ・基調講演 独立行政法人 宇宙航空研究開発機構  
宇宙教育センター長 的川泰宣
  - ・パネルディスカッション  
(パネリスト 4名・当財団よりは大森豊明評議員出席)
  - ・質疑応答後解散
6. 参加者数 約80名

#### 6. 理事会等の開催

平成18年度中に開催された会議は次の通りである。

##### (1) 理事会

平成18年度第13回理事会

- 日時 : 平成18年6月23日(金) 14:00~14:30
- 場所 : 赤坂オフィスハイツ会議室(港区赤坂)
- 審議事項 : ・平成17年度事業状況報告書(案)に関する件  
・平成17年度収支決算書(案)に関する件

第14回理事会

- 日時 : 平成19年3月23日(金) 14:30~15:00
- 場所 : 東海大学校友会館 会議室(千代田区霞ヶ関)
- 審議事項 : ・平成19年度事業計画書(案)に関する件  
・平成19年度収支予算書(案)に関する件  
・平成19年度助成事業対象者及び18年度内藤泰春記念対象者の決定に関する件  
・評議員の選任に関する件  
・理事長及び専務理事の選任に関する件  
・役員給与に関する件  
・企画委員会委員の選出に関する件  
・選考委員会委員の選出に関する件

(2) 評議員会

平成18年度第13回評議員会

日 時 : 平成18年6月23日(金) 14:30~15:00

場 所 : 赤坂オフィスハイツ会議室(港区赤坂)

審議事項 : ・平成17年度事業状況報告書(案)に関する件  
・平成17年度収支決算書(案)に関する件

第14回評議員会

日 時 : 平成19年3月23日(金) 14:00~14:30

場 所 : 東海大学校友会館 会議室(千代田区霞ヶ関)

審議事項 : ・平成19年度事業計画書(案)に関する件  
・平成19年度収支予算書(案)に関する件  
・平成19年度助成事業対象者及び18年度内藤泰春記念賞対象者の決定に関する件  
・理事及び監事の選任に関する件  
・役員給与に関する件  
・企画委員会委員の選出に関する件  
・選考委員会委員の選出に関する件

(3) 企画委員会

第9回企画委員会

日 時 : 平成18年6月16日(金) 14:00~15:30

場 所 : 赤坂オフィスハイツ会議室(港区赤坂)

議 題 : ・平成19年度調査・研究開発助成等の募集について  
・平成18年度顕彰事業及び科学技術セミナーについて

(4) 選考委員会

在宅書面審査

期 間 : 平成18年12月6日~平成19年1月12日

・書面審査及び評価シート作成

第10回選考委員会

日 時 : 平成19年1月29日(月) 14:00~16:00

場 所 : 東海大学校友会館 会議室(千代田区霞ヶ関)

議 題 : ・評価シートの集計について  
・評価結果に基づく課題の選定審査  
・課題選定後のスケジュールについて

## 7. 役員等に関する事項

### (1) 役員の変動

|      | 退任                | 新任                |
|------|-------------------|-------------------|
| 理事   | 小林和夫 (H19.3.31 付) | 矢野信太郎 (H19.4.1 付) |
| 同    | 宮川武夫 (H19.3.31 付) | 長谷部成夫 (H19.4.1 付) |
| 同    | 石井健治 (H19.3.31 付) |                   |
| 監事   | 大久保均 (H19.3.31 付) | 本浪敏男 (H19.4.1 付)  |
| 評議員  | 棚木亀治 (H19.3.31 付) | 鈴木隆 (H19.4.1 付)   |
| 企画委員 | 小林和夫 (H19.3.31 付) | 矢野信太郎 (H19.4.1 付) |
| 選考委員 | 小林和夫 (H19.3.31 付) | 高村壽一 (H19.4.1 付)  |
| 同    | 玉貫滋 (H19.3.31 付)  | 佐藤征夫 (H19.4.1 付)  |

### (2) 役員・各委員の定数及び現在数

平成19年4月1日現在の役員、評議員、企画委員、選考委員、再建委員の各定員及び現在員数は以下の通りである。

|      | 定数     | 現在数 | 備考 |
|------|--------|-----|----|
| 理事   | 6 ~ 10 | 6   |    |
| 監事   | 2      | 2   |    |
| 評議員  | 7 ~ 12 | 7   |    |
| 企画委員 |        | 5   |    |
| 選考委員 | 5 ~ 8  | 6   |    |
| 再建委員 |        | 6   |    |

以上